

## 令和4年度 第1回 副業セミナー 開催レポート

○日 時 令和4年7月25日（月） 13:30～15:00

○形 式 オンライン（Zoom）

○参加者 14名（ゲスト、事務局等を除く）

○ゲスト

- ・ 県内事業者：株式会社小名浜包装資材 代表取締役 小沼 郁互 様
- ・ 副業人材：Javasparrow株式会社 代表取締役 / デザイナー 稲田 祐介 様

○講 師

- ・ CAMELORS株式会社 代表取締役社長 田根 靖之 様  
（講話テーマ：企業成長のための「複業人材」を活用する極意とは）

○内 容

オンライン形式で令和4年度 第1回 副業セミナーを開催しました。

外部人材を活用したいが正規採用するにはコストがかかる、専門スキルを持つ人材を起用したいが応募がない等、悩みを抱える事業者の皆さんが副業人材をどのように活用できるのかを学ぶため、県内事業者向けに実施しました。

はじめに、パラレルキャリア人材共創促進事業として副業セミナーを主催する福島県からあいさつを行い、その後、事務局から福島県副業人材マッチングサイト使い方について説明。県内における採用・雇用に関する環境や副業人材の動向、令和2年度からの実施する事業のマッチング実績等について紹介しました。

**福島県副業人材マッチングサイト**  
令和2年5月20日 開設

**特徴**

- ・ 県内事業者、副業人材の**双方向からエントリー**が可能（アカウント登録不要）
- ・ 求人掲載料やマッチング成立手数料は発生しない（利用者負担なし）
- ・ 業務委託契約締結までの**面談・契約書作成のサポート**など丁寧な**フォローアップ**を確保

**実績**  
令和4年7月22日現在のサイト利用状況

マッチングサイト  
掲載プロジェクト数 計 **267** 件

副業人材  
エントリー数 のべ **1,407** 名

次に、副業人材マッチングサイトの活用事例を紹介。ゲストとして話をお聞きしたのは、いわき市の株式会社小名浜包装資材 代表取締役 小沼郁互様です。

小名浜包装資材は、いわき市で多品種の包装資材を扱う専門商社です。取り扱う商品点数が多く、商品改廃等も頻繁に起こるため、在庫管理やカタログの更新が課題になっていました。さらに、3か所ある営業所ごとに取り扱う商品が異なるため、社員自身が営業するために使いやすいシステムの構築をしたいと考えていました。

現場の営業担当がお客さんに分かりやすく商品を説明して、同時に、商品管理がしやすいシステムを構築したいと考えたことから、当初、小沼社長は周囲の業者に相談。しかし、「デジタルカタログ」や「HPの作成」などを提案されるばかりで、「どの手法が自社にとって最適か分からず、一緒に考えてほしい、伴走してほしいという思いから副業人材を募集した」と話します。

そして、副業人材マッチングサイトで複数名からの応募があり、面談をした結果、「この人とは気が合いそうだ」と感じた方と業務委託契約を締結。その副業人材が、千葉県で家電などのプロダクトデザインや商品企画などの手がける会社を営む稲田 祐介さんでした。稲田さんは、茨城県出身で、隣県にあたる福島での副業プロジェクトに興味を持ったとのことで、副業人材マッチングサイトから応募したということです。

業務の進め方として、まず、現状の確認から始まりました。稲田さんが小名浜包装資材の小沼社長から現在の商品管理方法、データの形式や管理方法、現場で営業担当がお客さんとのようにコミュニケーションを取っているか等について細かくヒアリング。それを踏まえて、稲田さんから提案されたのは「notion」というアプリを使用することでした。通常は、メモや議事録の作成等に使用するツールですが、小名浜包装のアイテムをカタログ化することに合わせてカスタマイズすることで、汎用性が高い判断し、稲田さんが小沼社長に提案するに至ったそうです。

小沼社長としては、初めて聞くツールに少々不安もあったようですが、稲田さんが作成したデモ画面を実際に見ると使用するイメージが湧いたとのことで、早速、新システムの構築に動き出しました。

また、小名浜包装資材で取り扱う商品は頻繁に入れ替えも発生することから、従業員の皆さんが使いこなせるようにと、稲田さんがマニュアルを作成。オンラインでレクチャーを実施して、運用面でのサポート体制も手厚かったようです。

最後に、稲田さんからは「事業者の皆さんにとって、知らないツールを導入するという大きな決断をしていただくために、これからも副業人材として伴走していく気持ちを大切にしたい」とのコメントがありました。小沼社長からは、「私たちだけでは、分からないことやできないことが多い。そういった中で、稲田さんのような副業人材にざっくばらんに相談できる環境をつくることで解決につながることもある。この副業プロジェクトは大きな意味があると思った」とのコメントもあり、マッチングサイトを利用して、大きな成果が得られた事例を知ることができました。



最後に、オンライン講話では、CAMELORS 株式会社 代表取締役社長 田根 靖之 様より、「企業成長のための『複業人材』を活用する極意とは」をテーマにお話いただきました。

田根様は、2019年6月に「SOKUDAN (ソクダン)」を立ち上げ、マッチング支援に取り組んでおり、今回は、複業人材活用のポイントやトレンドについてご紹介いただきました。

特に、労働力人口が減少している地方にとっては、実務経験がある人材を活用することが会社経営のカギになるというお話が印象的でした。

地方企業が人材を募集するうえでの工夫点、ポイントとして、「やってほしいことを明確にして募集する」「事業への共感マッチングを重要視する」「従業員との格差をなくす」の3点をあげられていました。そして、新たな人材を受け入れることに慎重な経営者の皆さんに向けて、行動することの重要性と複業人材と共に事業を創造することの大切さを講話のまとめとしてお話いただきました。

終了後の参加者アンケートでは、「具体的な事例が聞けてとても参考になりました」、「情報社会では、情報を取ったうえで行動に移すことが重要と仰っていたことが、当にそうだな！と思いました」などの感想がいただきました。セミナーにご参加いただいた皆さんが熱心に耳を傾けており、副業に対する関心の高さがうかがえました。

以上